

令和4年度市政アンケートモニター

くるモニ 調査報告書

第1回調査テーマ

- ①「行財政改革の推進」
- ②「生物多様性の保全」



久留米市

I 調査の目的

このアンケート調査は、市民の皆さんの市政に関する意向やニーズを把握し、今後の取り組みの参考データとするために実施しました。第1回アンケートの調査概要は次の通りです。

II 調査の概要

- (1)調査地域 …久留米市全域
- (2)調査対象者 …久留米市在住の満18歳以上の市民から無作為抽出した候補者の中から選任したモニター
- (3)実施方法 …インターネット調査
- (4)調査項目 …①「行財政改革の推進」、②「生物多様性の保全」
- (5)調査期間 …令和4年7月7日～7月20日
- (6)サンプル数 …479
- (7)回収数(率) …333 (69.5%)

III 回答者の属性

■性別	(%)
男	38.7
女	61.3
合計	100

■年代	(%)
20歳代以下	9.9
30歳代	15.0
40歳代	36.6
50歳代	21.0
60歳代	14.1
70歳以上	3.3
合計	100

■居住地ブロック	(%)
東部	10.8
北部	14.1
中央東部	14.4
南東部	10.2
中央部	15.3
中央南部	17.4
南西部	8.4
西部	9.3
合計	100

■職業	(%)
農林漁業	0.3
自営業	6.3
給与所得者(常勤)	53.5
パート・アルバイト (学生は除く)	15.6
学生	3.6
家事に専念	11.4
無職	6.3
その他	3.0
合計	100

※使用した地域区分

ブロック名	対応する校区
東部	山川、山本、草野、善導寺、大橋、船越、水分、柴刈、川会、竹野、水縄、田主丸
北部	小森野、合川、宮ノ陣、北野、弓削、大城、金島
中央東部	西国分、東国分、御井
南東部	上津、高良内、青峰
中央部	荘島、日吉、篠山、京町、南薫、長門石
中央南部	鳥飼、金丸、南、津福
南西部	荒木、大善寺、安武
西部	城島、下田、青木・浮島、江上、犬塚、三瀬、西牟田

<以下、設問と回答>

1 行財政改革の推進

行財政改革とは

国や地方自治体が、市民サービスの向上などを目的に、組織や制度、事務の手法などを改革し、経費の節減や業務の効率化を図ることをいいます。

久留米市では、これまで様々な行財政改革に取り組んできましたが、人口減少や少子高齢化が進む厳しい環境の中においても、将来にわたり持続可能な市政運営を確立するため、平成27年度から「行財政改革推進計画」をスタートさせました。

計画では、推進方針の1つに「経営品質の向上」を掲げ、行財政改革に関する市民満足度の向上を目指して、次の取り組みを進めています。

「経営品質の向上」に関する5つの取り組み

- 1 柔軟で効率的な組織体制の整備
- 2 職員の能力向上・活用
- 3 創意工夫による事務効率化
- 4 市民とのさらなる協働
- 5 積極的な情報発信



これまでの行財政改革の取り組みについておたずねします

問1 市がこれまでに取り組んできた行財政改革について、知っているものはありますか。(あてはまる番号にいくつでも○印)

- | | |
|---------------------------------------|-------|
| 1 業務の民間委託(学校給食調理業務、ごみ収集業務、水道料金窓口業務など) | 56.8% |
| 2 民間活用による施設整備や運営(指定管理者制度による施設の管理・運営) | 28.2% |
| 3 事業の民間移譲(公立保育所、ガス事業) | 33.9% |
| 4 事業仕分けの実施 | 6.6% |
| 5 職員数の削減 | 14.7% |
| 6 外郭団体の統廃合 | 6.0% |
| 7 市税等の収納率向上 | 6.6% |
| 8 未利用地の売却(市営住宅跡地など) | 18.3% |
| 9 パブリック・コメント制度 | 15.0% |
| 10 出前講座 | 27.0% |
| 11 知っているものはない | 28.5% |

《用語の解説》

※指定管理者制度

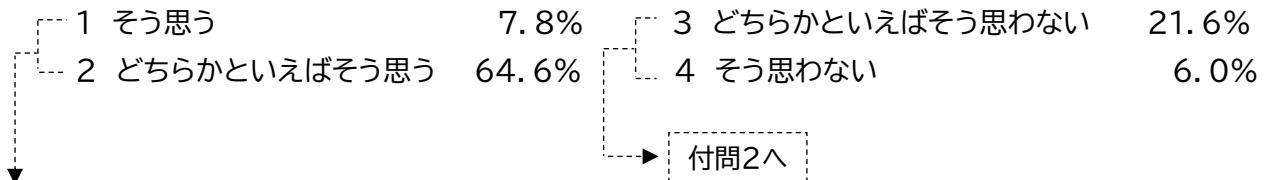
サービスの向上や経費縮減のため、民間の事業者等に公の施設の管理運営を行わせること。

※パブリック・コメント制度

市の政策や計画等を広く情報発信し、市民の意見を求め、市政への参加機会拡充などを図るもの。

「柔軟で効率的な組織体制の整備」についておたずねします

問2 市を取り巻く環境の変化に伴い、分野をまたがる課題の増加や市民ニーズの変化などに柔軟に対応していくため、簡素で効率的な組織体制の整備や職員の適切な配置に努めています。そこでおたずねします。各種手続の窓口や問い合わせ先など市の組織は皆さんにとって分かりやすく、職員は適切に配置されていると思いますか。(あてはまる番号に1つだけ○印)



付問1 問2で「1 そう思う」「2 どちらかといえばそう思う」と回答された方におたずねします。その回答を選んだ具体的な理由があれば、ご記入ください。

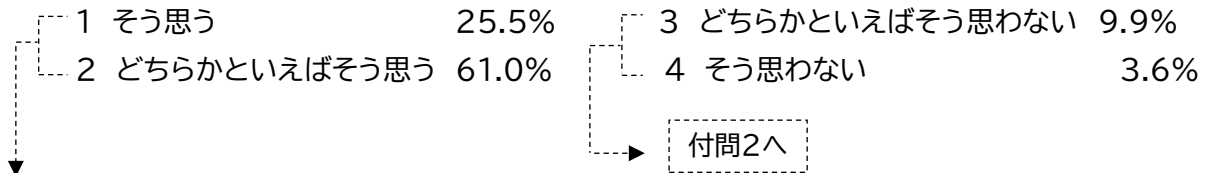
()

付問2 問2で「3 どちらかといえばそう思わない」「4 そう思わない」と回答された方におたずねします。その回答を選んだ具体的な理由があれば、ご記入ください。

()

「職員の能力向上・活用」についておたずねします

問3 新たな課題に迅速かつ的確に対応し市民サービスを向上させていくため、職員研修の充実を図るなど、職員一人ひとりの職務能力や接客マナーの向上に努めています。
そこでおたずねします。職員の説明はわかりやすく、対応は親切で、マナーは適切であると思いますか。
(あてはまる番号に1つだけ○印)



付問1 問3で「1 そう思う」「2 どちらかといえばそう思う」と回答された方におたずねします。
その回答を選んだ具体的な理由があれば、ご記入ください。

()

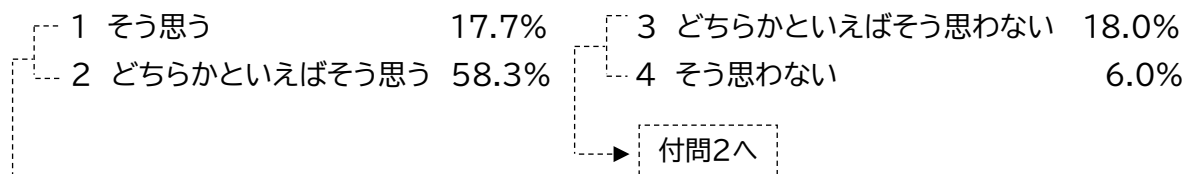
付問2 問3で「3 どちらかといえばそう思わない」「4 そう思わない」と回答された方におたずねします。
その回答を選んだ具体的な理由があれば、ご記入ください。

()

「創意工夫による事務効率化」についておたずねします

問4 窓口での手続きや事業の実施などを的確かつスピーディーに行うため、創意工夫による事務の簡素化や集約化、標準化を進め、事務執行における質の向上やスピードアップに努めています。

そこでおたずねします。市役所での手続きや相談等への対応は、的確で、適切な時間や期間で対応できていると思いますか。(あてはまる番号に1つだけ○印)



付問1 問4で「1 そう思う」「2 どちらかといえばそう思う」と回答された方におたずねします。その回答を選んだ具体的な理由があれば、ご記入ください。

()

付問2 問4で「3 どちらかといえばそう思わない」「4 そう思わない」と回答された方におたずねします。その回答を選んだ具体的な理由があれば、ご記入ください。

()

「市民とのさらなる協働」についておたずねします

問5 心豊かで住みよい地域社会を実現するため、市民活動を進める条例の施行やNPO・ボランティア活動の支援を行う市民活動サポートセンターを設置するなど、「協働のまちづくり」の推進に努めています。

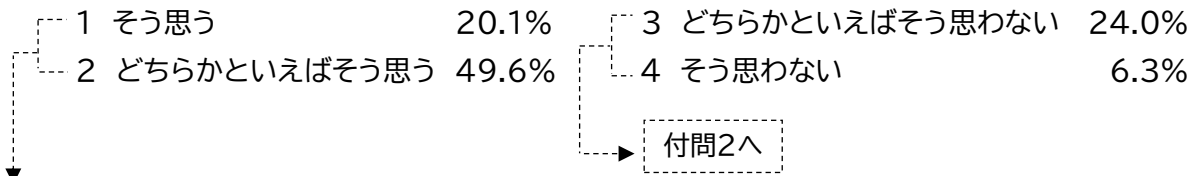
※「協働のまちづくり」とは…

市民、地域コミュニティ組織(自治会、各種住民団体、校区コミュニティ組織)、ボランティア団体・NPO、事業者、市などが、互いを理解・尊重し、それぞれの役割と責任において、単独または協力して取り組むまちづくりのことです。

(例)

青色パトカーによる防犯パトロール、グリーンパートナーや自治会による清掃活動、登下校時の見守り活動、子ども食堂、認知症カフェなど

そこでおたずねします。市民、地域コミュニティ組織、ボランティア団体、市などが連携協力しながら、地域のための活動に取り組むことができていると思いますか。(あてはまる番号に1つだけ○印)



付問1 問5で「1 そう思う」「2 どちらかといえばそう思う」と回答された方におたずねします。
その回答を選んだ具体的な理由があれば、ご記入ください。

()

付問2 問5で「3 どちらかといえばそう思わない」「4 そう思わない」と回答された方におたずねします。
その回答を選んだ具体的な理由があれば、ご記入ください。

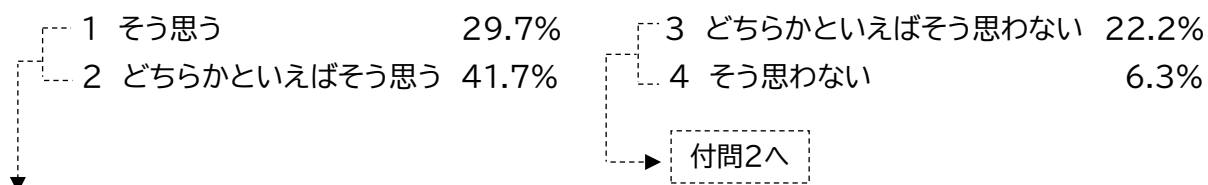
()

「積極的な情報発信」についておたずねします

問6 行政施策への理解を深めていただくとともに、市民の皆さまに必要な情報をお届けするため、広報紙やホームページ、SNS(フェイスブック、ライン※などのソーシャルネットワーキングサービス)など多様な媒体を活用し、様々な情報を、適切な時期に、より分かりやすく、正確に発信するよう努めています。

※市では、令和2年3月から「久留米市 LINE 公式アカウント」を開設しています。

そこでおたずねします。市の広報紙やホームページ、SNSは分かりやすく、必要な情報を適切な時期に伝えることができていると思いますか。(あてはまる番号に1つだけ○印)



付問1 問6で「1 そう思う」「2 どちらかといえばそう思う」と回答された方におたずねします。その回答を選んだ具体的な理由があれば、ご記入ください。

()

付問2 問6で「3 どちらかといえばそう思わない」「4 そう思わない」と回答された方におたずねします。その回答を選んだ具体的な理由があれば、ご記入ください。

()

※これで「行財政改革の推進」についての質問を終了します。
次のページからは「生物多様性の保全」についておたずねします。

2.生物多様性の保全について

生物多様性についておたずねします

問7 地球上には、森、里山、川、海など様々な自然環境に適応して生息している生きものが約3000万種いると言われていています。この多様な生きものが「食べる一食べられる」の関係をはじめ、複雑に関わりあい、様々な環境に合わせて生活していることを「生物多様性」と言います。

あなたは、市政アンケートモニター「くるモニ」に参加する前から、「生物多様性」という言葉を知っていましたか。(あてはまる番号に1つだけ○印)

- 1 内容をよく知っている 7.5%
- 2 内容をある程度知っている 20.4%
- 3 言葉を聞いたことがある 30.6%
- 4 全く知らない 41.4%

くるめ生きものプランについておたずねします

問8 久留米市の豊かな自然を守り、次世代に引き継ぐため「久留米市生物多様性地域戦略くるめ生きものプラン」を平成29年2月に策定し取り組んできました。

計画期間が終了したことから、令和4年3月に「第2次久留米市生物多様性地域戦略 くるめ生きものプラン」を策定しています。

あなたは、市政アンケートモニター「くるモニ」に参加する前から、「くるめ生きものプラン」という言葉を知っていましたか。(あてはまる番号に1つだけ○印)

- 1 知っていた 2.4%
- 2 知らなかった 97.6%

▶付問 問8で「1 知っていた」と回答された方におたずねします。何をきっかけに「くるめ生きものプラン」のことを知りましたか？(あてはまる番号に1つだけ○印)

- 1 市公式ホームページ 0.9%
- 2 環境フェアや自然観察会などのイベントや説明会 0.9%
- 3 くるめ生きものプランの冊子 0.3%
- 4 その他() 0.3%

問9 あなたは、この一年くらいの間に、身近に自然を感じたり、生きものと自ら進んでふれあったりしたことがありますか。(あてはまる番号に1つだけ○印)

- 1 あった 62.2% 2 なかった 37.8%

▶付問 問9で「1 あった」と回答された方におたずねします。身近に自然を感じたり、生きものと自ら進んでふれあった場所はどこですか。(あてはまる番号にいくつでも○印)

- | | |
|--------------------|--|
| 1 川やため池などの水辺 24.9% | 4 自宅の庭先 24.6% |
| 2 畑や田んぼなどの農地 23.4% | 5 耳納連山 <small>みのうれんざん</small> の山並みや里地里山 <small>さとちさとやま</small> 19.8% |
| 3 公園や公共施設 31.2% | 6 その他() 6.9% |

問10 久留米市では、自然環境調査を実施して、5地区(下記1～5)の「優れた生態系を有する地域」を選んでいます。また、平成27年に環境省より「生物多様性保全上重要な里地里山」として田主丸の竹野地区(下記6)が選定されています。下記の地域の中で、あなたが特に守るべき自然環境を有すると思う場所はどこですか。(あてはまる番号に1つだけ○印)

- | | |
|---|--|
| 1 城島町 <small>うきしま</small> の浮島地域(下図A) 4.2% | 5 筑後川中流域の恵利堰 <small>えりげき</small> 周辺(下図E) 4.5% |
| 2 広川 <small>ひろかわ</small> 河口付近(下図B) 2.4% | 6 田主丸町竹野地区の里地里山 <small>さとちさとやま</small> (下図F) 12.3% |
| 3 高良山 <small>こうらさん</small> 周辺(下図C) 35.1% | 7 わからない 39.9% |
| 4 鎮西湖 <small>ちんげいこ</small> 付近(下図D) 1.5% | |



問11 くるめ生きものプランでは「自然とふれあい、自然と生きるまち くるめ」を基本理念に掲げ、「生物多様性の保全」「自然環境の持続可能な利用」の施策に取り組みます。市が重点的に取り組むべきであると思うことは何ですか。(あてはまる番号に1つだけ○印)

- 1 絶滅の恐れのある野生生物やその生息地の保護など「希少生物の保全」 9.9%
- 2 緑化などによる「市街地での生態系の保全」 12.6%
- 3 河川や、公園、耳納山地など地域資源を生かした「自然とのふれあいの場の創出」 28.5%
- 4 森の造林、保育など「山林の保全、再生」 6.9%
- 5 環境に配慮した公共工事など「生きものの移動などに配慮した施策の推進」 6.3%
- 6 侵略的外来種(アライグマ、セアカゴケグモなど)の防除など「外来種への対応」 12.6%
- 7 有害鳥獣(シカ、イノシシなど)の調査、捕獲など「有害鳥獣への対応」 6.0%
- 8 中山間地域の持続的な農業活動支援など「田園などの里地里山の保全、再生」 4.5%
- 9 わからない 9.3%
- 10 その他(具体的に:) 3.3%

問12 「自然とふれあい、自然と生きるまち くるめ」を目指すためには、生物多様性に配慮したライフスタイルの転換が必要です。そのためにも一人ひとりが身近なところから行動することが重要です。日々の生活の中で、あなたは自然や生きものを守るための行動をしていますか。(あてはまる番号に1つだけ○印)

- 1 している 84.1%
- 2 していない 15.9%

※以下の様な行動が、自然や生きものを守るためにつながります

- 省エネ(温暖化対策)に取り組む
- 近所へ行く際、自家用車を使わず、徒歩、自転車を利用する
- 旬の食材や、地元で生産されたものを食べる
- 詰め替え用商品など、環境に優しい商品を購入する
- 緑のカーテンづくりをする
- 山や川へ行って、自然と触れ合う
- ペットは最後まで責任を持って育てる
- 自然観察会や自然環境保護活動に参加する
- 手作り堆肥で、野菜などを作る
- 地域の清掃活動に参加する

問13 あなたが自然環境や生物多様性の保全活動に取り組む場合、どのような活動を行いたいですか。
(あてはまる番号に1つだけ○印)

- 1 絶滅の恐れのある野生生物(絶滅危惧種)の保護 8.7%
- 2 侵略的外来種(アカミミガメ、オオキンケイギク)などの防除 12.6%
- 3 身近な野生生物(ホタル、ドジョウなど)が住みやすい環境づくり 67.6%
- 4 取り組まない 4.5%
- 5 その他(具体的に:) 6.6%



ご多忙のところ調査にご協力いただき、本当にありがとうございました。